

## 10 中信森林管理署グリーンサポートスタッフの取組

中信森林管理署 一般職員 ○鈴木 里歩子  
大野川森林事務所 森林官 平朽 潤己

### 1. 課題を取り上げた背景

中信森林管理署のグリーンサポートスタッフ業務は平成18年度から開始され、毎年美ヶ原、上高地、乗鞍の3地域において6月から10月の山岳観光シーズンに実施しています。活動開始から14年目となる当事業ですが、長い活動期間の中で入山者のマナーや活動地域の保全状況がどのように変化したのか、活動における課題はどのように変わり、今何が問題となっているのかを把握するため、今年度のスタッフ7名にアンケートを実施しました。アンケート結果のうち、入山者のマナーや植物保護への意識に重点をおきつつ、指導件数結果の推移と併せて課題を整理しました。

### 2. 取組の経過

#### 各地域の概要

【美ヶ原】八ヶ岳中信高原国定公園に指定されている美ヶ原高原を中心に活動しています。自家用車で乗り入れが可能となっており、高原内にはトレイルランニングのコースが整備されている等、登山者だけでなくトレイルランナーの入込みも多く見られます。

【上高地】大正池から横尾までの上高地園内を中心に焼岳や徳本峠等の登山道の巡視も行っています。中部山岳国立公園に指定され、昭和50年からはマイカー規制が布かれています。穂高岳や槍ヶ岳への登山の玄関口であり、徳沢・横尾キャンプ場もあるためシーズン中は多くの登山者が訪れます。

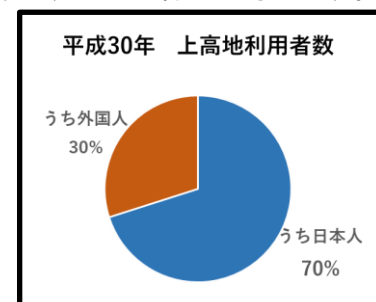
【乗鞍】三本滝からエコーライン沿い及び乗鞍岳を中心に活動しています。中部山岳国立公園に指定され、平成15年からマイカー規制が布かれています。畳平からは多くの登山コースが延びており登山初級者でも楽

しむ事ができます。また、乗鞍岳の長野県側東斜面にある雪渓エリアではサマースキーも可能です。

### 3. 実行結果

美ヶ原の主な課題1つ目は、ペットの持ち込みの増加です。リードを着用していれば法的な規制がないこと、自家用車で乗り入れられること等から近年における指導件数の大半を占めています。2つ目は標識類の不備についてです。老朽化やコースの記載漏れ、外国語の未表記等により、入山者の道迷いの一因となっています。上高地の主な課題1つ目は減少しないゴミの投棄で、特にキャンプ場付近では多く見られます。2つ目は立入り禁止区域への侵入です。歩道から外れての植生への立入りや歩行者通行禁止の治山工事専用道路への侵入が見られます。乗鞍の主な課題も立入り禁止区域への侵入です。高山植物の踏み荒らしだけでなく、混雑する乗鞍岳頂上付近における登山道外への立入りやスキーヤーによる雪融け箇所への踏込など地域的特長による問題が見られました。

3地域に共通してあげられる課題は多様化する入山者への対応です。入山目的の多様化や外国人観光客の増加、多国籍化により入山者の植物保護への意識にも差が見受けられます。ひとりひとりがマナーやルールを理解し意識出来るよう普及啓発していかねばいけません。特に外国人客については言葉の壁から十分な対応が出来ていません。



### 4. 今後の取組

来年度事業より、携帯型翻訳機を試験的に導入し、外国人対応の充実化を図ります。また、各地域の協議会へ、グリーンサポートスタッフが確認した標識類の問題点を報告し、改善につなげていくことで、入山者が植物保護を意識出来るような環境造りに努めます。